

超音波検査所見による脂肪肉腫の組織型分類の検討、および脂肪腫との比較

【研究の概要】

超音波検査で見られる所見と、その後の手術の結果明らかになった腫瘍の組織分類の関係を検討することで、今後、超音波検査所見から脂肪肉腫の組織型を想定し、患者さんの診療上、有用な情報を検査室から提供できるようになることを目指します。一方、脂肪肉腫の一部は、良性の脂肪腫と画像所見が非常に似ているため、区別するのが難しい状態です。しかし、それらの治療方針は異なります。そのため、これら2つの腫瘍の超音波画像を比較検討することで、その違いが明らかになれば、より良い診療に繋がります。

【研究の対象】

軟部腫瘍のため当院整形外科にて診療中の患者さんの中で、臨床検査部の生理機能検査室に超音波検査の依頼があり、その後手術で腫瘍が摘出され、脂肪肉腫・脂肪腫の病理組織が明らかになった方。

【予定症例数ならびに研究期間】

予定症例数： 脂肪肉腫100例、脂肪腫200例

研究期間： 倫理審査承認後より2025年12月31日まで

【研究の方法】

超音波検査時に得られる画像所見と、その後の手術により摘出された腫瘍の病理検査所見などの臨床情報の関連性を検討します。

【研究場所】

杏林大学医学部付属病院 臨床検査部

【予想される有害事象】

超音波検査は身体に悪影響はありません。また、通常行われる検査を大きく逸脱するものではありません。更に、病理検査などは、既に予定されたもしくは行なわれた検査結果を検討の対象といたしますので、本研究を目的に検査を受けていただくことはありません。

【個人情報の保護について】

これらの検討には患者さんの貴重な検査結果を使用させていただいておりますが、全て匿名化したデータを解析しております。そのため、患者さん個人が特定されることは一切ありませんのでご安心下さい。（ご自身の検査結果がこれら検討に含まれることを希望されない場合には、臨床検査部までどうぞ遠慮なくお申し出下さい。）

【倫理審査】

本研究は、杏林大学医学部倫理委員会において審議され承認されています。

課題番号：H28-009-04 / 承認番号：780-01

承認日：2016年6月13日 / 更新日：2020年12月23日

【研究体制】

研究代表者：嵐森 直子（杏林大学 医学部附属病院 臨床検査部）

研究責任者：嵐森 直子（杏林大学 医学部附属病院 臨床検査部）

共同研究者：

岸野 智則（杏林大学 保健学部 臨床工学科 / 医学部 臨床検査医学）

森井 健司（杏林大学 医学部 整形外科学）

岡部 直太（杏林大学 医学部 病理学）

柴原 純二（杏林大学 医学部 病理学）

大西 宏明（杏林大学 医学部 臨床検査医学）

渡邊 卓（杏林大学 医学部 臨床検査医学）

【連絡先】

事務局：嵐森 直子（杏林大学 医学部附属病院 臨床検査部）

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

Tel：0422-47-5511（内線：2824）